国勢調査2020

ボクの名前も書いて♪

※ペットは世帯員欄に書いてはいけません

国勢調査の回答はお済みですか？
国勢調査は５年に一度行われる、日本で最も重要な統計調査で、今年は調査開始から１００年目の節目の年となっています。
『日本に住む人や世帯』について知ることで、生活環境の改善や防災計画など、私たちの生活に欠かせないさまざまな施策に役立てられる大切な調査です。
また、調査の結果は、衆議院の小選挙区の確定基準、地方交付税の算定基準など、多くの法令でその利用が明記されています。
国勢調査は日本に住む全ての人と世帯が対象です。皆さんの回答をお願いいたします。

【問い合わせ先】企画財政課　☎53－3114

国勢調査百年物語　はじめの一歩

その１　第１回国勢調査は大正９年

日本ではじめて国勢調査が行われたのは、大正９年、１９２０年。世界に目を向けてみると、１７９０年にアメリカで行われたものが世界で最初のものと考えられています。その後、フランスやイギリス（１８０１年）、ベルギー（１８３１年）など西洋諸国でも次々に実施されていきました。アメリカ合衆国から遅れること１３０年余り、はじめて国勢調査が実施されることに決まると、国中が「一等国の仲間入りだ」と大騒ぎになりましたが、国民の多くはその内容については、全く分かっていませんでした。

その２　国勢調査と名付けたのはあの偉人?!

『国勢調査』は、国の勢いを調査するものだと勘違いされていた方もいるのではないでしょうか。実は、国の情勢を調査するという意味なのです。この**国勢**という言葉を用いて統計の重要さを最初に訴えたのは、早稲田大学の創始者で、第八代、十七代内閣総理大臣の**大隈重信**であったと言われています。

その３　日本近代統計の祖　杉 亨二（すぎ こうじ）

第１回国勢調査から遡ること約40年も前に、**甲斐国現在人別調**（かいのくにげんざいにんべつしらべ）が政府と山梨県の予算で行われました。この調査は、調査方法が確立されてなく、政府の予算もなかった時代に、国民のことを把握すべきだと唱え続けていた杉亨二が試験的に実施したものです。しかし、この調査の後、全国的な調査は行われませんでした。表面的な理由として財政難がありましたが、それ以上に統計への理解がまだ、十分に浸透していなかったことが理由だったと言えるかもしれません。

その後も、日露戦争や第一次世界大戦などに莫大な費用が必要となり、国勢調査どころではなく、ようやく国勢調査の予算が大正７年度の予算に組み入れられ、公表された日に、国勢調査の実施に人生を懸けた杉亨二は、静かに息を引き取ったのでした。

◆**10月１日午前０時時点**の状況を記入してください。

◆日本に常住している全ての人および世帯を対象としています。

◆調査関係者に対しては、調査票の記入内容に対する守秘義務が定められており、個人情報は厳格に保護されます。

◆**10月７日(水)まで**に回答してください。回答が確認できない世帯には調査員が再訪問いたします。

回答はかんたん便利なインターネットで　おすすめです!!

新型コロナウイルス感染防止のためにも、できる限りインターネットでの回答をお願いします。
※インターネットで回答した場合、調査員は調査票の回収には伺いません。

◆24時間いつでも回答
スマートフォン、タブレット、パソコンからいつでも回答することができます。

◆かんたんアクセス
『国勢調査オンライン(回答サイト)』には、QRコードもしくは検索からかんたんにアクセスできます。

国勢調査オンライン　検索

◆厳重なセキュリティ
回答いただいた情報は、厳重なセキュリティで保護されているので安全・安心です。

調査事項

世帯員に関する事項

◆氏名
◆男女の別
◆出生の年月
◆世帯主との続柄
◆配偶の関係
◆国籍
◆現在の住居における居住期間
◆5年前の住居の所在地
◆在学、卒業等教育の状況
◆就業状態
◆所属の事業所の名称および事業の種類
◆仕事の種類
◆従業上の地位
◆従業地または通学地
◆従業地または通学地までの利用交通手段

世帯に関する事項

◆世帯の種類
◆世帯員の数
◆住居の種類
◆住宅の建て方